

ハルジオンとヒメジョオン

これもよく似た草（でも咲く時期がちがう）

ハルジオンは毛深くてさわるとふわっとしている、てらてら光るような緑色。ヒメジョオンは葉がうすく柄がはっきりしている。

それほどたくさんは見られませんが、きれいなロゼットを作るものにメマツヨイグサがあります。また、円形にはなりません、シロツメグサ、カタバミ、ノミノフスマ、湿り気のあるところではチドメグサなども地面にべったりくっついて冬を越します。

隙あらば花

ちょっと暖かいとロゼットから花を咲かせる草。先にあげたタンポポやナズナのほか、うすい黄色のイヌガラシやスカシタゴボウ、這った茎に咲くうす紫色のトキワハゼ、タンポポと同様縮こまって咲くノボロギクなど。

「お花畑」南の梅林・桜の回廊は南向き斜面で暖かいので、いろんな草の花が早く咲きます。ロゼットを作らないホトケノザやオオイヌノフグリなども。

調べてみよう

ロゼットをつくる草には、何年も生きている多年草（宿根草）と、夏~秋に芽生えて冬越しし、春に開花結実して枯れる二年草（越年草）があります。どの草がどちらか調べてみよう。

2007年1月発行 名古屋市東山植物園

東山植物園セルフガイドシート⑭ 植物園たんけん隊

冬に咲く植物 ロゼットをさがそう

___月___日 なまえ_____

見られる時期：冬

見られる場所：日当たりのいい草地など

冬も緑の葉を保つ草が、葉をぴったり地面につけて平べったくなった状態を「ロゼット」といいます。これは「ばらの花形」意味で、上から見ると放射状に重なる葉が円をつくり、様式化された花模様に見えます。

冬に咲く薔薇（のような）ロゼット。一番きれいなロゼットをさがしてみてください。

どこにある？

芝生の中、園路のはしなど日当たりのいい地面ならどこでも見つかります。べったり地面にくっついた典型的なロゼットはどんなところでよく見られるかな？

茶色っぽく土の色にまぎれていたり、枯れた芝生にかくれるくらい小さいものもあります。しゃがみこんでさがしましょう。

なぜこんなかっこう？

べったり地面にくっつくと、どんないいことがあるの？

①てのひらを広げてロゼットの上にのせてみよう。

②ちょっと失礼…とロゼット葉をめぐって下の地面を触ってみよう。

③ロゼットになってみよう。日当りのいい芝生に寝ころがって、手足をぴったり地面につけよう。

冷たい乾いた風をよけ、できるだけ日に当たり、春にのびるための大事な根や芽を寒さや乾燥やから守っています。北風がまったく当たらない場所では、葉が広がり花茎までのびてロゼットでなくなることも。

どんな草がある？

よく見るロゼットには次のようなものがあります。

タンポポのなかま

矢じり型のするどいギザギザのある葉っぱ。外がわの葉はオレンジ色がかかることが多い。園路に生えたものなどは相当ペタンコ。最も多いセイヨウタンポポは、冬でもロゼットの中心で縮こまった花を咲かせる。

オニタビラコ

タンポポに似ているが毛が多く触るとふわっとしている。きれいなロゼットだが、くすんだ紫かっ色で目立たない。

ウロジロチチコグサとそのなかま

最近になってふえてきた草。きれいな緑色でふぞろいなだ円形の葉の、ちょっぴり丸まったフチから裏の白がのぞく。芝生などに多い。

似たなかまに、全体が白くてあまりぴったりしたロゼットにならないハハコグサ、チチコグサモドキ（ハハコグサより葉がよれっとしている）、銀色に光る細い葉のチチコグサなどがある。

ナズナ（ぺんぺんぐさ）のなかま

タンポポよりも細かい切れ込みで、先がとがらない。葉の先や付け根が紫がかかる。ちょっと暖かいと花茎を伸ばし白い花が咲く。

タネツケバナのなかま

ナズナに似ているが、切れ込みの先が丸くなったかわいい葉っぱ。

オオアレチノギクとヒメムカシヨモギ

どこにでも生えて見わけが付きにくい雑草だが、ロゼットではかなりちがう。オオアレチノギクは大きく自立つロゼットで、緑色・葉が波打つ・あまりぴたっと地面にくっつかない。ヒメムカシヨモギは先が丸くて柄がはっきりしている、柄が紫がかかる、柄に自立つ毛がある、ぺたっとしている。